

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調査

3-17

3-17

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	地域における景観形成
節			
事業(施策)名	17 市民を対象とした良好な景観に関する啓発活動	事業主体	佐渡市建設課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県都市政策課、佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○景観保全に関する市民の理解促進により、地域における良好な景観形成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○地域における良好な景観形成に向けて、地域が協働し、主体的・継続的に取り組むことができるよう啓発活動を行う。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●市報(4月)で、市報景観条例の周知を図るとともに、4月より年度末までケーブルテレビで届出制度について周知する。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●4月の市広報紙及びケーブルテレビで市条例による届出制度について周知している。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■市民の理解促進により、協働した景観形成を図っていくことが必要である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■住民の景観まちづくりの意識啓発を目的に、届出者や代理者との協議・調整を行い、景観に配慮した外観への誘導を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a ● b · c]</p> <p>◇予定通りに周知を行い、市民の理解促進を図ったことで、一定の成果が得られた。</p> <p>【事業実施の効果】 [a ● b · c]</p> <p>【総合評価】 [A ● B · C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。